

■ 鴨川市地域福祉計画評価調書

資料 2

(28・29 年度の地域福祉実施状況報告書より主なものを抜粋)

第 1 節 市民一人ひとりが主役の地域づくり

1. 誰もが主役

(2) 支援が必要な人への支援体制の構築 (P110 頁)

評価数値項目 1

(福祉課)

項目	策定時 (H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値 (H32)	備考
地域活動支援 センター I 型 の年間相談件 数 (のべ数)	214 件	161 件	200 件	240 件	H29 月平均実人員 8.75 人

(評価)

若干減少している。障害者相談支援制度の充実により、地域活動センターでの相談を必要とする利用者が減少している。

2. 権利が守られる

(1) 自立・権利擁護への支援体制 (P112 頁)

評価数値項目 2

(福祉課)

項目	策定時 (H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値 (H32)	備考
成年後見制度 の新規申立て 件数	6 件	7 件	7 件	増加	H29 内訳 5 件高齢者 2 件障害者

(評価)

成年後見制度の新規申立ては、制度の周知が進む中で増加している。

第2節 ふれあい、ささえあいのある地域づくり

1. ささえあう意識が根付く

(1) ささえあう意識の醸成(P116 頁)

評価数値項目 3

(健康推進課)

項目	策定時(H26)	実績(H28)	実績(H29)	目標値(H32)	備考
認知症サポーター数	3,200人	5,077人	5,662人	6,200人	H27 1,194人 H28 683人 H29 585人

(評価)

認知症サポーターについては、毎年養成講座の実施により増加している。

2. 地域で気軽に交流

(2) 自治組織の強化(P120 頁)

評価数値項目 4

(市民交流課)

項目	策定時(H26)	実績(H28)	実績(H29)	目標値(H32)	備考
回覧版が回る世帯の割合	61.9%	61.8%	60.3%	72.3%	H29 全世帯数 14,633世帯 自治会加入 8,826世帯

(評価)

近年、自治会に加入する世帯が減少している。

3. 担い手をはぐくむ

(2) 地域活動を担う人材の発掘・育成(P123 頁)

評価数値項目 5

(福祉課)

項目	策定時(H26)	実績(H28)	実績(H29)	目標値(H32)	備考
福祉関連ボランティア登録数	645人	568人	571人	524人	27団体(H29)

(評価)

ボランティアの新規者がおらず、団体が高齢化している。高齢になった団体が活動限界になると解散するため減少している。

4. 福祉活動が活発

(2) 地域活動における団体間の連携強化(P125 頁)

評価数値項目 6

(健康推進課)

項目	策定時 (H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値 (H32)	備考
地域ケア会議 の開催回数	2 回	2 回	2 回	2 回	

(評価)

年に2回、7月と2月に開催している

第3節 いつまでも安心して暮らせる地域づくり

1. 生活のしづらさを軽減

(3) 生活環境に関するニーズの把握(P128 頁)

評価数値項目 7

(企画政策課)

項目	策定時 (H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値 (H32)	備考
コミュニティ バスの年間利 用数	36,068 人	37,969 人	35,296 人	41,661 人	市内3ルート

(評価)

コミュニティバスの利用者は路線沿線の人口減少等を要因に利用者が減少している。

2. 地域で見守り活動が盛ん

(1) 地域の見守りネットワークの構築(P131 頁)

評価数値項目 8

(福祉課)

項目	策定時 (H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値 (H32)	備考
見守り協定を 締結した事業 所数	10 事業所	13 事業所	14 事業所	26 事業所	H27 3 事業所 H28 1 事業所 H29 1 事業所

(評価)

見守り協定については、少しずつ増加している。

3. 孤独死や虐待、家庭内での暴力が（DV等）がない。

（2）孤独死・虐待・DV等の防止に向けた支援体制の整備（P134 頁）

評価数値項目 9

（福祉課）

項目	策定時（H26）	実績（H28）	実績（H29）	目標値（H32）	備考
緊急通報システムの設置数	220 世帯	183 世帯	170 世帯	330 世帯	

（評価）

緊急通報装置の利用者は減少傾向にある。

4. 生活に困窮する人がいない。

（1）生活困窮者等への支援の推進（P138 頁）

評価数値項目 10

（健康推進課）

項目	策定時（H26）	実績（H28）	実績（H29）	目標値（H32）	備考
生活困窮に関する年間相談件数	19 件	32 件	27 件	40 件	

（評価）

生活困窮者の相談は、増加している。生活困窮として相談してくる人はおらず、ひきこもり、精神的や経済的な相談としてくることが多い。

5. 災害がおきても安心して避難

（3）災害時の支援体制の整備（P141 頁）

評価数値項目 11

（消防防災課）

項目	策定時（H26）	実績（H28）	実績（H29）	目標値（H32）	備考
防災に関する出前講習等の年間実施回数	14 回	28 回	26 回	21 回	H29 参加者数 745 名

（評価）

小学校から地区の集会場まで子どもから区長関係者や高齢者まで幅広く参加するように取り組んでいる。

6. 地域の活性化と安定的な自主財源の確保

(2) 地域の活性化 (P144 頁)

評価数値項目 12

(市民交流課)

項目	策定時(H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値(H32)	備考
まちづくり支援補助金を活用した活動団体数 (累計)	28 団体	26 団体	28 団体	53 団体	

(評価)

年間 4 ～ 5 団体の新規活用を見込んでいたが、PR 不足もあり、伸び悩んでいる。

第 4 節誰もが生活しやすい地域づくり

1. 必要な情報が行き届く

(1) 情報提供の強化 (P146 頁)

評価数値項目 13

(福祉課)

項目	策定時(H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値(H32)	備考
声の広報事業利用者数	11 人	10 人	10 人	18 人	

(評価)

声の広報の利用は減少傾向にある。

2. 困ったらすぐに相談

(1) 相談体制の強化 (P148 頁)

評価数値項目 14

(健康推進課)

項目	策定時(H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値(H32)	備考
福祉総合相談センター新規相談受付件数	880 人	710 人	717 人	現状維持	H29 新規相談 294 人

(評価)

総合相談は、相談件数としてはよこばいの状況である。

3. 必要な人が福祉サービスを受けられる

(1) 福祉サービスの充実 (P150 頁)

評価数値項目 15

(福祉課)

項目	策定時(H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値(H32)	備考
障害児通所支援施設数	0 施設	0 施設	1 施設	1 施設	

(評価)

鴨川そらいろの開設により通所施設は1施設できた。また共生サービス制度のスタートにより高齢者施設でも障害児を受入れを行うことが可能になった。

4. 連携して地域をささえる

(1) 地域包括ケアシステムの構築 (P153 頁)

評価数値項目 16

(健康推進課)

項目	策定時(H26)	実績 (H28)	実績 (H29)	目標値(H32)	備考
安房地域包括ケア連絡会の開催回数(計画期間内の累計)	0 回	4 回	8 回	20 回／5 年間	H28 4 回 H29 8 回

(評価)

毎年、館山市・南房総市・鴨川市・鋸南町で合同で開催する「地域福祉連携セミナー」を始めとして合同で協議し取組みを進めている。

鴨川市による主要な取組み

- 鴨川市権利擁護推進センター設置（H28）
鴨川市社会福祉協議会内に権利擁護推進センターを設置し、日常生活自立支援事業と法人後見事業、後見に関する啓発、相談を総合的に実施するセンターを設置した。
- 鴨川市市民後見人養成講座実施（H29）
- 避難行動要支援者支援の仕組みづくりを推進中
- ディマンドタクシーをスタート（H30）
- 65歳以上の運転免許返納者で、ノーカーサポート優待証の発行
（バス料金半額）

■ 現状における課題

1. 赤い羽根共同募金、社会福祉協議会会費、日本赤十字社員会費の減少
2. 老人クラブの地区クラブの減少、会員の減少、高齢化
3. ボランティアの減少、高齢化
4. 買い物難民の増加（市内の過疎地域の商店の減少）
5. 自治会の組織率の低下